

鳩山総務相が辞任

首相と郵政人事で対立
事実上の更迭、政権打撃

鳩山邦夫総務相は十二日午後、麻生太郎首相を首相官邸に訪ね、日本郵政の西川善文社長の進退問題をめぐり辞表を提出し、受理された。西川氏の続投を認める立場の首相に対し、鳩山氏はあくまで反対する姿勢を変えず、対立していた。このため、自身の辞任で事態收拾を図ったものだが、事実上の更迭だ。東京都議選や衆院選を目前に、麻生政権は求心力を一層低下させることになった。

首相は午前にも鳩山氏を官邸に呼び、この問題を協議した。鳩山氏は協議後、記者団に「私は自分の信念を全部申し上げた」と述べ、続投を認め



鳩山邦夫総務相

ない意向をあらためて伝えたことを明らかにした。これに先立ち、鳩山氏は記者会見で、首相が西川氏の続投を決めた場合は「タイミングによっては罷免、あるいは辞任ということとは十二分にあり得る」と述べ、自身が更迭される可能性があるとの見方を示していた。